

提案名 Geoheritage Tohoku ～五感で感じる東北遺産～

総合的地理学の視点に立ち、ディープな東北の伝統文化をベースに自然や食といった多角的な「環境」「人の営み」の要素を加え、説得力・訴求力・ストーリー性を付加したサステナブル・ツーリズムを構築する。

東北域内の普及展開対象地域：青森県（十和田市）、岩手県（大船渡市等沿岸部全域、遠野市）、宮城県（東松島市、南三陸町）

対象とする国外マーケット：欧州（イギリス・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン等）を中心とする諸外国

チーム構成・役割分担

- 株式会社 第一広告社 全体統括
- 株式会社 JTB モニター調査 / コンテンツ作成・磨き上げ / プロモーション・販売
- 一般社団法人 十和田奥入瀬観光機構 受け入れ / プロモーション・販売
- 株式会社 遠野ふるさと商社 受け入れ / プロモーション・販売
- 一般社団法人 大船渡市観光物産協会 受け入れ / プロモーション・販売
- 株式会社海楽荘（大船渡温泉） 受け入れ / プロモーション・販売
- 一般社団法人 南三陸町観光協会 受け入れ / プロモーション・販売
- 上山八幡宮 受け入れ
- 奥松島縄文村歴史資料館 受け入れ

参考とした過年度モデル・テーマ

- TOHOKU WONDER PROGRAM
～東北の文化をインバウンドの力で再興する～
- The Legends of TOHOKU ～東北のハレとケを体感する物語～

課題・問題意識

東北の伝統文化コンテンツは、その背景にある自然環境や人の営み等、地理学の要素を付加することで深みを増す。しかし、東北のジオパークのような地理学に基づくツーリズムは、自然地理学に偏りがあるように見える。食や文化等の人文地理学の観点から自然環境を活用するストーリーの構築が不可欠である。

課題解決に向けたモデルの普及・展開の内容

1. 地域との意見交換：課題認識とビジョンの確立

地域の観光事業者と連携体制を整え、地域課題を共有し、課題解決の方針を話し合う。

2. アクションプラン（コンテンツ素案）の策定

地域との意見交換を踏まえ、コンテンツ作成、プロモーション、販売の具体的なアクションプランを作成する。

3. モニター調査、海外の旅行会社・コンシェルジュへのヒアリング、モニターツアー

在日外国人モニターに、アクションプラン（コンテンツ素案）をプレゼン、意見を聴取する。またモニターツアーを実施し、コンテンツ内容や受入態勢等に対する意見を聴取する。

4. コンテンツ作成

コンテンツの作成、それに付随する受入態勢（現地住民への教育）やアクセスの整備、ツール制作等の制作を行う。

① オルレで乾杯！縄文青空レストラン / 宮城県東松島市

縄文文化を感じられるオルレを歩いた後、自然の中で縄文コース料理を堪能する。

② 神職がご案内する津波ときりこの物語 / 宮城県南三陸町

神社を神職とともに巡り、震災の歴史に触れ、きりこを製作体験を通して文化を体感する。

③ “海と生きる”を体感 大船渡の虎舞 / 岩手県大船渡市

地域で受け継がれている“本物の”虎舞を間近で楽しむ。演舞後は地域の人と交流。

④ 古代から現代まで遠野を巡る冒険 / 岩手県遠野市

巨石「続石」、昔語り、遠野神楽、ジンギスカンと古代から現代までの地理学的世界を周遊。

⑤ 知られざるパワースポット 霊山十和田 青森県十和田市

霊山十和田の歴史を散策しながら、パワーポイントでパワースポット「占い場」を目指す。

5. プロモーション・販売

① 効果的なプロモーションツールの制作

外国人観光客に向けた情報発信や海外の旅行会社等との商談の際に活用するプロモーションツール（Webサイト、プロモーションムービー、パンフレット）を制作する。

② 海外の旅行会社との商談

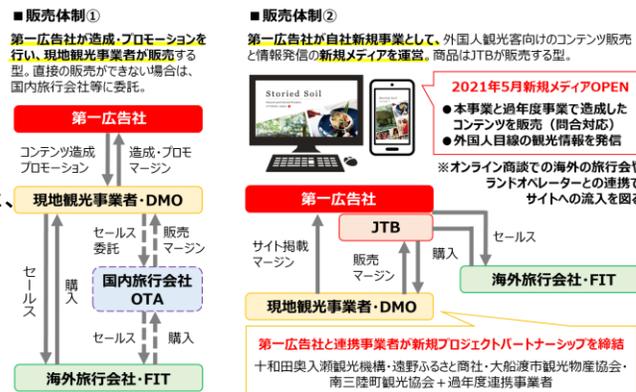
イタリアの旅行会社4社、スペインの旅行会社4社とオンラインで商談を行う。セールスプロモーションとともにコロナ禍における市場の状況をヒアリングする。

③ 『ZOOM JAPON』による情報発信

イギリス・フランス・イタリア・スペインにおいて日本の文化的情報を総合的に発信する無料月刊誌『ZOOM JAPON』の在日記者を招聘し、取材いただき、Web版に掲載。

6. 事業の普及・発展に向けて

本事業のモデル（インバウンドと地域課題解決の両立）やノウハウ（ストーリー性付加の手法）等をナレッジ集にまとめ可視化し、他地域に普及展開していく。また、右図のように、自社事業として「コンテンツの販売」と「インバウンド視点での東北の魅力情報発信」を兼ね備えた新規Webメディアを開設・運営し、継続性のある事業を実現する。



- モデル性** ①「地域が抱えている課題をインバウンドコンテンツの作成及び販売を通じて解決する。
汎用性 ②地理学の切り口で、地域資源や既存コンテンツを整理・抽出し、ストーリー性を付加する。

▶ 成功事例・失敗事例とともにナレッジ集にまとめ、可視化をし、他の自治体やプレーヤーに波及させる。